

美術科シラバス

科目名	単位数	学年	対象
素描	2	1	芸術教養コース

使用教科書・副教材	「高校美術1」 116-日文・美I-302 日本文教出版
指導目標	デッサンの基本（姿勢、見方、画材の扱い方等）をしっかりと身に付ける。

学期	月	週数	学習内容	学習のねらい	時間
1	4	1	オリエンテーション	デッサンとは何か、基本姿勢や用具の扱い方を学ぶ。	2
		2	木炭のグラデーション	明暗（トーン）の差が出せるようにする。	2
		3			
	5	4	基本形体デッサン① 立方体 木炭 6時間	構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	8
		5			
		6			
	6	8	基本形体デッサン② 円柱 木炭 6時間	構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。目線の高さに注意しながら描く。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	8
		9			
		10			
	7	11	基本形体デッサン③ 球 木炭 5時間	構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 球体の量感を意識しながら描く。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	6
		12			
		13			
	2	9	石膏首像デッサン① ヴィーナス面取り 木炭 8時間	石膏像をよく観察し、その構造について理解する。 構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	10
14					
15					
16					
10		石膏首像デッサン② ヴィーナス 木炭 10時間	形のプロポーション、バランスをよく見て捉える。 構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	12	
					17
					18
					19
11		石膏首像デッサン③ アリアス 木炭 12時間	石膏像の動勢をよく見て、捉える。 構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 塊や量感、形のプロポーションを捉えて表す。 トーンの幅を出した表現をする。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	14	
					20
					21
					22
12	人体クロッキー	モデルの立場、描き手の立場の両方を経験しながらクロッキーについて学ぶ。骨格、プロポーション、動勢を捉え、構造をよく理解しながら描いていく。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	8		
				23	
				24	
				25	
3	1	まとめ	作品の鑑賞、および教室整備	2	
					26
					27
	2				
3					

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基本姿勢ができているか ・構図のとらえ方ができたか ・形や立体感のとらえ方ができたか ・授業態度(意欲、関心：30%)＋作品、提出物(技能、表現、理解：70%)
----	---